

京築のヒノキと暮らすプロジェクト(ちくらす)

(福岡県)



京築ヒノキのオリジナル商品を提案するコンペ

<3つのポイント>

- ・「京築ヒノキ」の新たな使い方による他産地との差別化プロジェクト。
- ・国・県・市町・森林組合による協議会と2大学との連携が実現。
- ・デザインを学ぶ学生によるコンペを実施し、オリジナル商品を開発。

京築のヒノキと暮らすプロジェクトは、福岡県東部に位置する行橋市、豊前市、京都郡苅田町、みやこ町、築上郡吉富町、上毛町、築上町の2市5町で構成されている「京築」地区の「ヒノキ」の利用推進を目的に、地区内の西日本工業大学、隣接する北九州市の西南女学院大学と連携して実施したものです。具体的には、伐採現場の見学会をはじめ、座学、京築ヒノキのオリジナル商品を提案するコンペの開催・優秀作品の試作、そして活動の展示を行いました。

<きっかけ>

- ①京築地区森林・林業推進協議会は、特に“京築ヒノキ”の利用推進に力を入れて、木工教室などの木育活動や公共施設等での木製品の展示を行っている。
- ②プロジェクト立ち上げ当時、京築ヒノキのオリジナル商品は少なく、他産地との区別なく安価で流通している状態にあったため、京築ヒノキの良さを生かした新たな使い方を提案することで差別化を図りたいと考えた。
- ③京築地域内の西日本工業大学、隣接する北九州市の西南女学院大学に地域の現状を相談したところ、大学側も地域の課題解決に繋がる活動に意欲的であったため連携して活動することになった。

<目的>

家具や木製品等のヒノキの新たな使い方を提案することで、良質な京築ヒノキが高く評価され、森林整備の推進、枝打や間伐等の適切な実施による良材生産意欲が向上することを旨とする。

<内容>

- ・現地見学及び座学：大学生に向けて、伐採現場の見学会を開催後、森林・林業・木材に関する基礎知識を解説。
- ・合同コンペの開催・試作：コンペテーマを設定し、デザインを学ぶ各学生による1人1案の発表。審査で優秀作品を製作する。平成29年度は2回開催。



制作物(ベンチ)

・活動の展示:

[平成29年度]5月2日～7日 展示場イベントへの出展

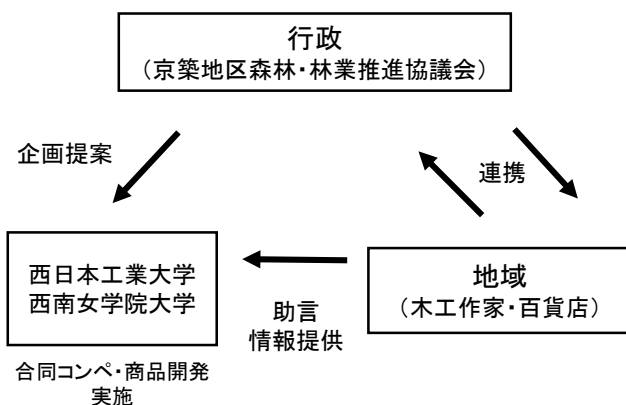
3月14日～20日 地域の百貨店内での展示

[平成30年度]4月17日～22日 イタリア・ミラノで展示



地域の百貨店内での展示

<実施体制>



<今後の展望>

現在製作している名刺入れを販売し、収益を研究費に還元する仕組みをつくることで、京築ヒノキの商品開発の一連の流れ(企画→コンペ→試作→展示→製品化→販売)を継続する体制としたい。

京築ヒノキに関する問合せも増えてきており、森林所有者の良材生産意欲の向上につなげていきたい。

<経費>

京築地区森林・林業推進協議会

財源:管内市町、森林組合負担金

対象:会議開催、製品試作、交通費など

予算:例年30万円～40万円程度

西日本工業大学研究費

財源:大学研究費及び文部科学省(地(知)の拠点大学による地方創生推進事業(COC+))

<問い合わせ先>

福岡県行橋農林事務所 TEL : 0930-23-0388

<ホームページ>

<https://chikurasu.jp>

<注目ポイント>

問題意識からプロジェクトの設計、業界外を巻き込んだ実施体制づくり等が参考になります。3年の商品開発を経て、最終的には、イタリア・ミラノで開催された「JAPAN DESIGN WEEK IN MILANO 2018」に出展するなど、大学生の活躍により京築ヒノキが世界にはばたきました。